

会議名	(仮称) 矢板市まちづくり基本条例策定委員会第3回会議記録	
日時	平成21年12月15日(火)午後7時00分～8時30分	
場所	市役所 2階 本館会議室	
出席者	市 只木秘書政策室長、鈴木政策班長 政策班 赤羽主幹、和田副主幹、杉山主査、高瀬主任 策定委員 別紙名簿のとおり	
<p>1 開会(政策班 赤羽主幹) 開会及び資料の確認</p> <p>2 あいさつ(会長) 年の瀬の慌ただしい中、ご出席いただき有り難うございます。 今年の世相を表す漢字一字は「新」だそうです。また、流行語大賞が「政権交代」ということで、今年は政治関係の話題が多かったような気がします。8月30日を境に何か変わろうとしているような予感がします。これを機会に矢板市も変わっていく必要があると考えるこの頃です。 さて、前回の会議では、「矢板市のよいところ」を協議していただき大変素晴らしいものができたと思っています。 今日は前回の続きで「矢板市の将来のあるべき姿」を議論していただくこととなります。素晴らしい提案がなされますようお願いいたします。</p> <p>3 まちづくり基本条例骨格の検討1 (1) 矢板市民アンケート調査結果報告書について 事務局より説明</p> <p>(2) 矢板市のまちづくりの方向性について (ワークショップ) 今後の条例の前文づくりや条文づくりの参考とするために4班に分かれて「矢板市のまちづくりの方向性について」を議題に4班に分かれてワークショップを実施。</p> <p>その後会長の進行によりA班より発表</p> <p>A班 前回は発表しましたが、皆さんよいまちだというのが、なぜか人が増えない。この疑問を議論しました。最終的には経済である。お金が回らない地域では何も始まらない。ここをしっかりとやるのが大切。それと関連であるが「スピリッツ」がない、さらに他人を中傷することを絶対やめよう。矢板は良いところがいっぱいあるのでこれをアピールしよう。また、矢板の悪い所は「すぐお金がな</p>		



い、でもA班では、工夫すれば何とかでもなる、人を動かせばどうにか出来るところがいっぱいあると思う。ここをみんなで何とか工夫しましょうというのがA班の結論です。お金が無いより、まずスピリッツがあって、これをどうにかしようというときに、人が動く、物が動く、最後にお金が動く事だと思えます。目的意識を持つことが非常に大切である。

また、伝承する力、いままでの良いものを子ども、孫、地域の人に伝承していく必要がある。この伝承する力がないし、学習する場がない、引いては、地産地消やそういうものを切り拓く力になっていないと思っています。

次に、自治体が目指していく方向は、簡単に言えば「低負担、高福祉」であると思っています。もう一つ、次代に生きる人によりよい社会を残すことが、現在の人の責務という自覚が必要である。

( P 4 参照 )

B班 どのようなまちにしたいかという議論をした結果、一つは、観光の町に、八方ヶ原の自然を活かした観光を行うべき。それと同時に安全なまちづくりをセットで行う。

それから、コミュニティ活動、これからの自治は、住民自治で行うからコミュニティ活動を活発な町にする。

次に、自然環境であるごみのない日本一のまちにしようよ。ただ、ごみのないまちだけではダメで、日本一のまちづくりを考えて、健康のまちづくり運動などを行う必要がある

その他、福祉教育、歴史の伝承の町などを考えていく必要がある

( P 5 参照 )

C班 「人の集まる町」をアピールしていきたい。

春はツツジの郷、秋はリンゴの里、また、道の駅が出来るので農産物をインターネットによりアピールしてはどうか。

また、ツツジの郷は長峰があるので、ここをアピールして、ここに人を集める。

次に、活気、人が集まれば活気ができる、そこにはいろんなお店が出たりして、お金も動く。

矢板は、花火大会が10月にあり、たかはらマラソンこれも10月にある。また、トライアスロンは遠くからの参加者もいる行事であり、これも結構話題性のある事業であると思えます。

次に、高速道路を利用して来ていただくためにはどうするか、道路を通っていただくと矢板は混んでいるということがあがるが、混んでいる中で、矢板で何かを



やっていけばそこで止まってくれるのかと思います。

やはり最終的には人が集まってもらって活気のあるまちにする。そのために、力を入れてもらいたいのはボランティア活動、これは高齢者が住んでいるし、ボランティア活動が盛んなところは心が豊かであると思うので、これをアピールしていきたい。

次に、環境問題と自然とエコ、ごみ処理問題、これは一人一人の心がけであるので、これをなんとかしたい。

( P 6 参照 )

D班 まず、方向性を出すところから始めまして、

3つの方向性を出しました。一つは自立するまち矢板、教育を尊重するまち矢板、品格のあるまち矢板、この方向性を基に、2番目のキーワードの「どんなまちにしたいか」では、まず、一つは子育てしやすいまち矢板、歴史文化の盛んなまち矢板、市民活動が盛んなまち矢板、四季を通じて自然とふれあえるまち矢板、教育に力をいれるまち矢板、きれいで住みよいまち矢板というキーワードを出しました。



どうしたらよいのかまでは入り込めなかったのですが、まず、子育てしやすいまち矢板、産業が盛んなまち矢板が循環するのでないかと思います。まず、産業を盛んにするまちにはどうしたらいいのか、企業誘致をすとか、支店・営業所を矢板においてもらい、他県他市にでている若者のUターンを促進し、その人達の結婚を推進して、子どもを作っていて、さらに子育てがしやすい環境を整えていくという循環を作っていく。

次に、人口を増加させるには、教育に力を入れるとか、これには大学を誘致すとか、専門学校を誘致すとか色々ありますが、今回はそこまでは踏み込めなかった。

次に子育てしやすいまちには、子どもが沢山いるまち、歴史文化の盛んなまちにするには史跡を保護する。

市民活動が盛んなまち、人と人がふれあうまちでは、まだ、グループでは意見が出ていませんのでこの辺で発表を終わります。

( P 7 参照 )

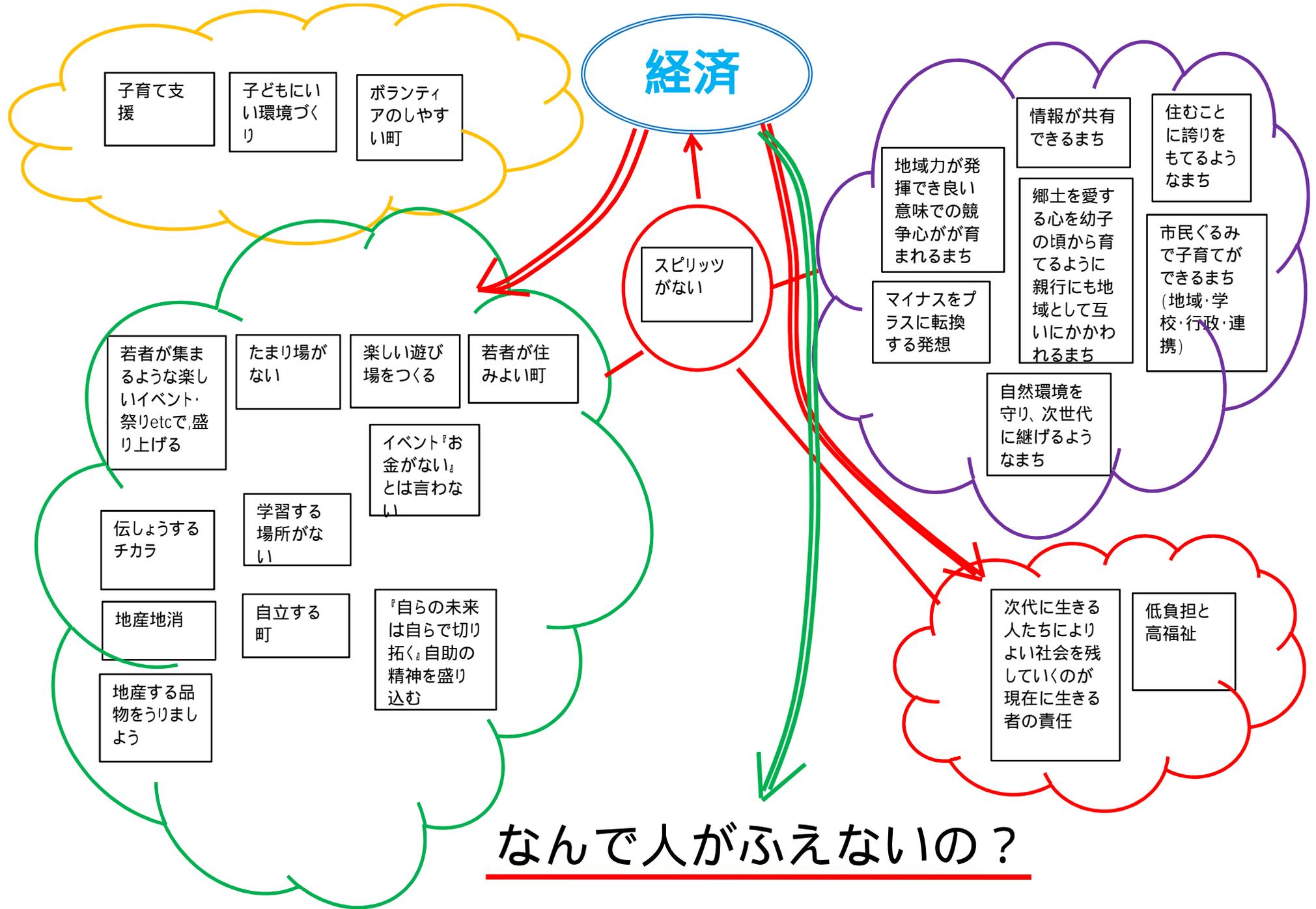
## 5 その他

次回の日程について

- ・第4回 日時：1月19日(火)午後7時から  
場所：本館会議室
- ・第5回 日時：2月17日(水)午後7時から  
場所：本館会議室或いは第一委員会室

内容 ワークショップ議題について、「条例に盛り込む内容の検討」について

6 閉会 20:30



## 観光のまち

地域ブランドのあるまちに

矢板市の資源を生かし(農産物)

地域の商店街をもっと生かして市民に生活しやすく活気がほしい

観光の拠点化を図る

楽市楽座商店街

商店街が活気にあふれる明るく元気のあるまち

## コミュニティ

思いやりお互い様ですと言える町

男女がお互いに認め合い、補いあい分かちあうまち

若者にとって子育てがしやすいまち

一人ひとりの価値感を認め、基本的人権が尊重されるまち

物より心をハードよりソフトを大切にすまち

住民自治(活動)のある日本一のまちに

ご近所づくあいや地域の人のつながりなど、コミュニティを大切にすまち

NOPやボランティアなど市民活動が盛んなまち

B班

## 福祉

高齢者やしょう患者にとって福祉の充実した、優しくて生きがいのあるまち

教育を大切に、生涯学習がさかんなまち

## 教育

### 文化の街

歴史や伝統・文化を大事にし、それを大切に守りさだてるまち

行政・議会が市民にとって信頼し、納得の出来るまち

社会のルールや人としてのマナーを大事にするまち  
法令を遵守するまち

市(行政)や議会が市民のにとって開かれたものであり市民とともに歩むまち

ある一つで日本一のまちに

ごみのない日本一のまちに

## ゴミの無い街

緑豊かで環境に配慮したきれいで住み良いまち

ECOな街づくり

緑と美しい自然を生かした町

自然を大切に、心いやされるまち

自然保護と地域開発が調和のとれたまち

## 自然環境

市民が安心(安全)できるまちに

子どもを安心して生み育てる街

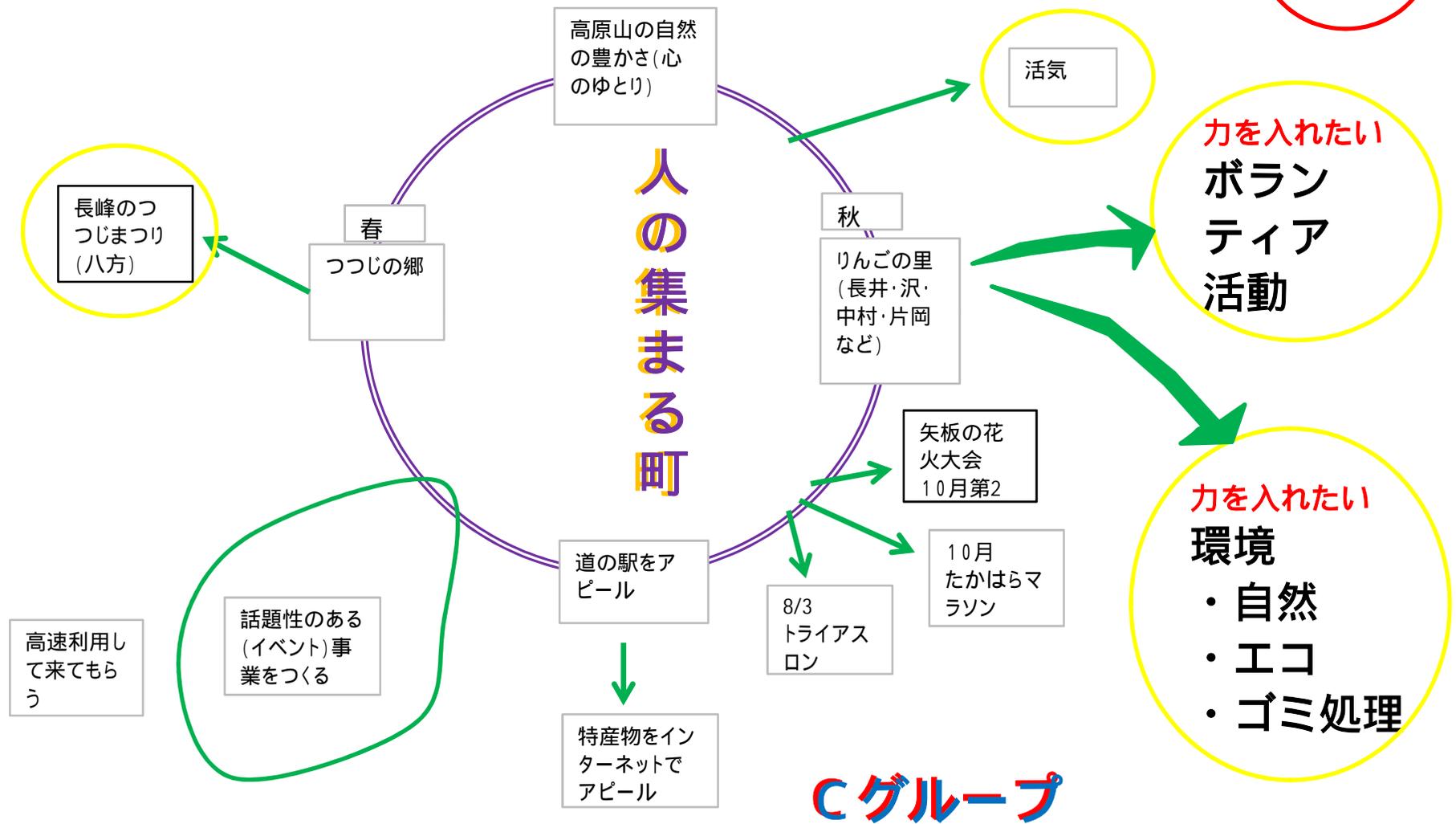
子どもたちにとって安全で安心して住めるまち

市民参加が多いまちに

## 安全

## 歴史文化継承

# 矢板の町づくり



D班

# 方向性

1. 自立する
2. 教育を尊重する
3. 品格のある

やいた

